

平成30年度 食品の安全・安心シンポジウム 質問と回答

日 時：平成30年11月13日（火）13時30分～16時

場 所：岐阜県図書館1階多目的ホール（岐阜市宇佐4-2-1）

テーマ：食物アレルギー

質疑応答・意見交換で紹介できなかった質問について、下記のとおり登壇者の方から御回答をいただきましたので、紹介します。

【希望回答者：長良医療センター 金子氏】

Q：エピペンについて、うまく打てたか心配で2回打つこともあるのでしょうか。

A：2回打つ場合もありますが、それは症状が改善しない場合です。15分後にもう一度摂取可能です。うまく打てたかどうかで、2度うつことはありません。そのためにも、日ごろから、シミュレーションをくりかえすことが必要です。

Q：幼稚園勤務で調理をしています。現在、年1回の診断書と指示書を提出してもらっていますが、来年度より、生活管理指導票を使用しようと思います（来年度より、子ども園になり、2号、3号も入園するため）。これを出してもらえば、診断書は必要ありませんか。診断書は園独自で作成したものを、病院で記入してもらっています。

A：生活管理指導票があれば、診断書は必要ありません。

Q：来年、小学校に小麦・卵・乳アレルギーを持つ子供が入学します。吸い込むのもダメなほどの重度なので、保育園では別室で給食を食べ、クラスの子たちが給食を食べる教室では、給食後に掃除（どの程度かは不明）をしているそうです。掃除をすることで、症状が出る可能性を低くすることはできますか？

A：微量で症状が誘発される児童は、確かに、吸い込んでも症状が出現します。保護者の方と相談して、一度、教室で食べてもらい症状が誘発されるか、検討してみるのがよいと思います。それで、症状が出るなら別室での給食も仕方がないと思います。掃除も必要になるかと思います。

Q：本校では牛乳パックの洗浄を子供たちが行っています。洗浄するときは別室にいさせることを考えますが、他にどのような配慮が必要ですか。

A：牛乳洗浄をする流しと、その子が日常使う流しは別にしてください。牛乳パックを使っている流しは中止ください。

Q : Th1/Th2 バランスをコントロールすることは可能ですか。

A : 現時点で、Th1/Th2 のバランスをコントロールする薬はありません。動物実験では、様々な試みがされていますので、将来は、薬として使用できるかもしれません。

Q : OVA グルテンも細かく細分化すると呈味性の変化があるのでしょうか。

A : 一般的に、ペプチドからアミノ酸に近づくにつれ、苦みが出てくるので、グルテンや OVA でも苦みが出ると思われます。

Q : 今後のアレルギーの原因となるようなものはありそうですか。

A : 人工甘味料、納豆のネバネバ成分などが新たなアレルゲンとして報告されています。理論的にはすべてのたんぱく質に対して、アレルギー反応が出現する可能性はありますが、実際は一部の人に出現するだけです。過度に心配する必要はありません。

Q : IgE は悪者なのでしょうか。どこで作られ、何を目的に存在するのですか。

A : リンパ球の一つの B 細胞から産生され、寄生虫の排除に重要な役割を果たしています。

Q : 経口免疫療法は誰でも効果があるのでしょうか。中学生・高校生・大人であっても有効ですか。

A : 経口免疫療法は、あくまで研究的な治療法の位置づけです。ですから、誰にでも勧める治療法ではありません。成人でも効果あるとの報告があります。

Q : オレンジアレルギーがあるのに、みかんアレルギーがないのはなぜですか。

A : オレンジとミカンを構成するたんぱく質が少し異なっているためと考えられます。

Q : 大人になってから（50歳以降）牛乳は温めても3～4回に1度くらい下痢をします。キウイも最近口のまわりがピリピリします。この程度でも口にしないほうがよいでしょうか。このような状態を続けているとアナフィラキシーショックを起こすような重篤になることはありますか。

A : 牛乳を飲んでの下痢は乳糖不耐症の可能性がありますが、また、キウイでのピリピリは口腔アレルギー症候群の可能性もありますが、いずれも、続くようなら主治医の先生にご相談ください。

Q : 親等アレルギーがあるとき、子に発症することはありますか。

A : 親にアレルギーがある場合、その子供は少しだけ発症リスクが上がります。

Q：学校給食での食物アレルギー対応において、レベル1の詳細な献立表対応は園で行っていますが、アレルギー児によって症状の度合いが異なり、加工品が食べられる子には加工品を提供し、完全除去といわれた子に対しては除去や代替えで対応しています（いずれも診断書あり）。

園で対応する場合は、完全除去に統一したほうがよいのでしょうか。

A：その園のキャパシティによると思います。完全除去か通常通り食べるかの二者択一が、最も事故が起こりにくいです。複雑な対応では、事故が起こりやすくなります。その施設のマンパワーとの相談になるかと思います。

Q：生活管理指導票には、費用がかかることはわかりましたが、経口負荷試験を行うにも費用はかかるのでしょうか。かかるのであればどれくらいでしょうか。

A：保険診療の範囲内で行われますので、小児では費用はかかりません。昼食代の数百円です。昼食も持参すれば無料です。

【希望回答者：体育健康課 中村氏】

Q：昼食後、運動後以外の食物アレルギーに関する対応例では、どのタイミングがありましたか。

A：様々ですが、今年度の事例としては、登校後や清掃活動後に疑われる事案がありました。

Q：管理指導票の提出がない児童・生徒が多くいるようですが、提出がない要因は何と思われますか。

A：個々に提出されない理由があると思いますが、症状が現れなくなっていることや保護者が面倒に感じていること、料金がかかることなどが主な理由であると考えられます。